

## イーファス骨格調整による姿勢分析の流れ

(2.1)

担当		項目	詳細・注意
施術者	受付		
	○	施術目的の説明	前説「イーファス骨格調整と目的」 「症状における体の状態と原因」
	○	施術前姿勢撮影	4方向（正面→左側面→右側面→背面）➡登録
●	○	動作検査	前説「動きやすくなるということは」 ※1.初診は動作検査前に小指チェックがお勧め
●		骨盤検査	通常徒手で行うが、アクチも有効
●		アクチベータ	距骨チェックも有効
●		検証動作確認 ➡ 患者説明	後説「動きやすくなるということは」
●		骨格調整（ポータブルD）	徒手でも可
	○	施術後姿勢撮影	4方向（正面→左側面→右側面→背面）➡登録
●		合成比較 ➡ 患者説明	・後説「動きやすくなるということは」 ・健康管理のために定期的な受診指導（リセット） ※股関節チェックなどで <b>わずかな歪みのリスク説明</b> ※2.説明時の iPad 画面を録画
△		検証動作確認	距骨テープやブロックも効果定着に有効
↓↓↓			
<b>終了（次回予約） もしくは その他の施術を行う</b>			

※1.初診者には動作検査の前に小指チェックなどを行って、体のつながりを認識してもらう

※小指チェックや距骨チェックの反応性は、アクチやドロップの回数目安となります

※2.合成比較を評価・説明の iPad 画面を録画して LINE で送付する